



北部地域にコミュニティーセンターを建設

北部地域のコミュニティー活動の拠点として(仮称)北部コミュニティーセンターを建設します。住宅地の開発に伴い人口の増加が急速に進む北部地域のこのセンターが、地域住民の学習の場や触れ合いの場として、大いに活用されることが期待されます。

建設場所は大通南四丁目、敷地面積は一千九百八十平方メートル。建物は、鉄筋コンクリート二階建て七百二十四平方メートル。一階には事務室、ロビー兼図書室、集会室、調理実習室を設置。二階には、和室と二百人が収容できる多目的室を設けました。そのほか、駐車場、遊び場(緑地)

また、より快適な農村社会の建設を目指す農村総合整備モデル事業・地域振興特別推進型通称スーパーモデル)に取り組みます。この事業は、農林水産省が二年度から創設したもので、事業費は三十億円程度が想定されています。五年程度の事業着手を目標に準備を進めていきます。

広域農道とスーパーモデル事業を構想

本市を縦貫する広域農道農地農道整備事業の調査費を計上しました。これは広域農道地計画に基づいて、大通川の東に加茂市、白根市、新潟市を有機的に結ぶ広域農道を構想するもの。広域農道の経済効果を発揮し、農産物の生産から流通までの一体的整備を目指しています。これにより、点在する営農施設や、これまで整備されたほ場関連道路を有効に活用した、農産物の生産、流通体系の整備拡充が期待されます。

また、コミュニティーセンターは公民館活動の拠点となるとともに、各地区にある地域生活センターと同様に、住民票や戸籍関係の書類、印鑑証明の取り次ぎなどの行政サービスも行います。

企業会計・特別会計

ガス事業

事業収益 9億6,624万円
事業費用 9億3,418万円
資本的収入 1万円
資本的支出 2億4,378万円

都市ガスの安定供給と安全性の確保に努めます。本市の都市ガスは、一〇〇%近い高普及率となっています。今後は維持管理を強化し、計画的に老朽管の更新と各家庭のガス機器の保守点検に努めます。また、供給施設の安全管理を図ります。

水道事業

事業収益 7億7,806万円
事業費用 7億1,463万円
資本的収入 6,703万円
資本的支出 2億9,000万円

安全で安定した水道水の供給に努めます。河川などの水質汚濁が進んでいることから、水質管理体制の強化を図ります。配水管路の適確な管理を行うため、配管図の作成整備を引き続き進めます。また、

老人保健

予算総額 24億2,241万円
国保事業同様健康づくり運動の推進により、高齢者の健康対策を積極的に進めます。

国民健康保険

予算総額 19億6,380万円
昨年、国民健康保険税率の一〇%引き下げを行いました。今年度もその税率を維持しながら予算を編成。保険税の賦課額は、一人当たり八百八十九円、一世帯当たり平均では一万三千七百十三円の減額となっています。

歳出面では、一人当たり医療費の見込み額を前年度比八%増で積算しました。医療費の改定、高度な技術や新薬の使用などにより医療費は増加傾向にあります。本市では、健康づくり運動の定着により医療費が安定傾向にあるので、さらに運動を推進し、医療費の適正化を図ります。

主要施策

白根北中学校建設事業など教育環境の整備に全力

平成二年度から三カ年継続事業として建設を進めている白根北中学校。今年度の建設費は、八億一千九百二十五万円を計上。四年四月開校に向け、第二年度の校舎建設、用地の整備、自転車置き場の設置、樹木の植栽などを進めます。また、校章、校旗の選定と作製を行います。人口急増地区の大通小学校は、普通教室と特別教室を増築。小林小学校も普通教室の増築を債務負担行為事業として実施します。債務負担行為とは、将来(後年度)の経費支出を明確にして

主な事業と予算額

○白根北中学校建設事業	81,925
○大通小学校増築事業	22,796
○デイ・サービスセンター運営	2,415
○白根保育園建設事業	22,532
○(仮称)北部コミュニティーセンター建設事業	27,115
○広域農道農地農道整備事業	1,233
○スーパーモデル事業	999



工事が進む白根北中学校

事業を進めるもので、今年度の支出を伴わない事業です。デイ・サービスセンターいよいよ事業開始 老人福祉センター(白寿荘)

に隣接して建設したデイ・サービスセンター(白寿荘)は、四月から事業開始の予定です。在宅の寝たきり老人や虚弱老人を対象に、入浴やリハビリ、介護教室などのサービスを行います。建物は、鉄筋コンクリート二階建て二百二十平方メートルで、入浴室と食堂(静養室、リハビリ訓練室兼用)を設けました。五人の職員が介護に当たる予定です。

白根保育園を改築

児童施設の整備として、白根保育園を現地改築します。昭和二十二年に市内最初の認可保育園施設として開設した白根保育園は、老朽化が激しく早期建設が求められていました。建物は、鉄筋コンクリート二階建てを予定。定員は現在の百十八人から八十人に減少します。なお、工事期間中の保育は、中央保育園に隣接するつくし園で行う予定です。

ふるさと創生事業

ふるさと創生事業については、(仮称)白根ふるさと村を構想し、その実現に向けて努力します。当初事業を予定した(仮称)白根ふるさと館の建設だけではなく、郷土資料館や周辺施設などを含めた一体的な整備を構想するものです。



事業開始を待つデイ・サービスセンター